



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

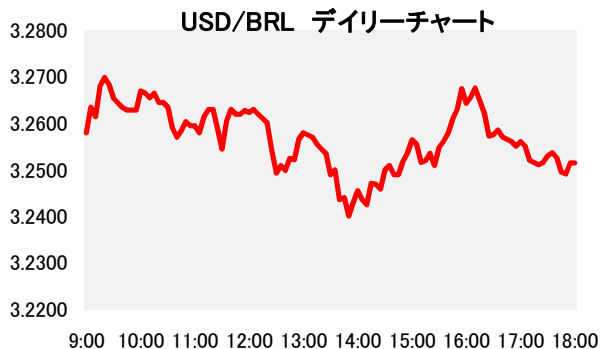
1. マーケット・レート

			2月23日	2月26日	2月27日	2月28日	3月1日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2390	3.2250	3.2500	3.2480	3.2520	+0.0040
	BRL/JPY	Spot	33.01	33.15	33.03	32.86	32.65	-0.21
	EUR/USD	Spot	1.2290	1.2314	1.2232	1.2201	1.2267	+0.0066
	USD/JPY	Spot	106.92	106.91	107.36	106.69	106.19	-0.50
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.503	6.526	6.535	6.525	6.514	-0.011
	Future	1Year(p.a.)	6.693	6.698	6.707	6.678	6.658	-0.020
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.733	2.670	2.728	2.728	2.770	+0.042
	USD	1Year(p.a.)	3.033	3.012	3.054	3.105	3.115	+0.010
株式	Bovespa指数		87,293.25	87,652.63	86,935.44	85,353.59	85,377.81	24.22
CDS	CDS Brazil 5y		154.49	150.24	151.66	156.77	159.66	+2.89
商品	CRB指数		195.994	196.750	195.394	193.949	193.948	-0.00

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

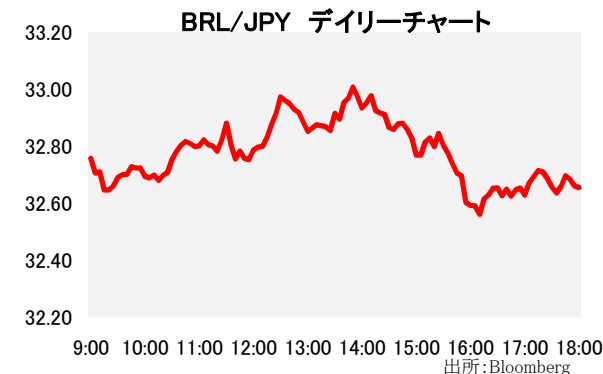
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.18%	0.17%	0.26%
GDP(前期比)	0.30%	0.10%	0.10%
GDP(4四半期累計)	1.1%	1.0%	-0.2%
自動車販売台数	--	156906	181263
(米) 個人所得	0.3%	0.4%	0.4%
(米) PCEコア(前月比)	0.3%	0.3%	0.2%
(米) 新規失業保険申請件数	225k	210k	222k
(米) ISM製造業景況指数	58.7	60.8	59.1



3. 要人コメント

ダドリー米NY連銀総裁	(伯中銀での講演で) ブラジルのような過剰な外貨準備は、世界の調整機能低下や貿易相手国への負担転嫁等、悪影響を及ぼす可能性がある
-------------	--



4. トピックス

- 本日のレアルは3.2540で寄り付き、直後に日中安値3.2700を付けた。大口資金流入の噂からレアルは対ドルで買われ、正午過ぎに日中高値3.2390まで上昇したが、その後は売り戻しが優勢となった。取引終盤は方向感に欠く動きが続き、結局3.2520でクローズ。
- 本日発表された伯実質GDPは、2017年通年の成長率が+1.0%と2016年の▲3.5%から3年振りにプラスに転じた。農業や資源価格が回復したことが背景。市場予想はやや下回ったものの、想定範囲内だったことから市場の反応は限定的だった。
- ボベスパ指数は続落。トランプ米大統領が鉄鋼とアルミニウムの輸入に対して追加関税を課すとの報道から米株価が軟調推移。これを受けて、国内市場もつられて下落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませ。宜しく申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。